



まっぴん

-その場その時のファイル提供・取得-

位置情報

ファイル共有

その場その時

●未来大 ●専修大 ●神奈工 ●法政大

●岩佐 和真 ●鎌田 幸希 ●川北 紘正 ●高橋 佑太 ●藤本 巧海 ●松山 航 ●山名 風太
●佐藤 実結 ●鈴木 康平 ●鈴木 萌生 ●高橋 優磨 ●田中 遼 ●土屋 克典 ●市川 晴菜 ●河原 颯太

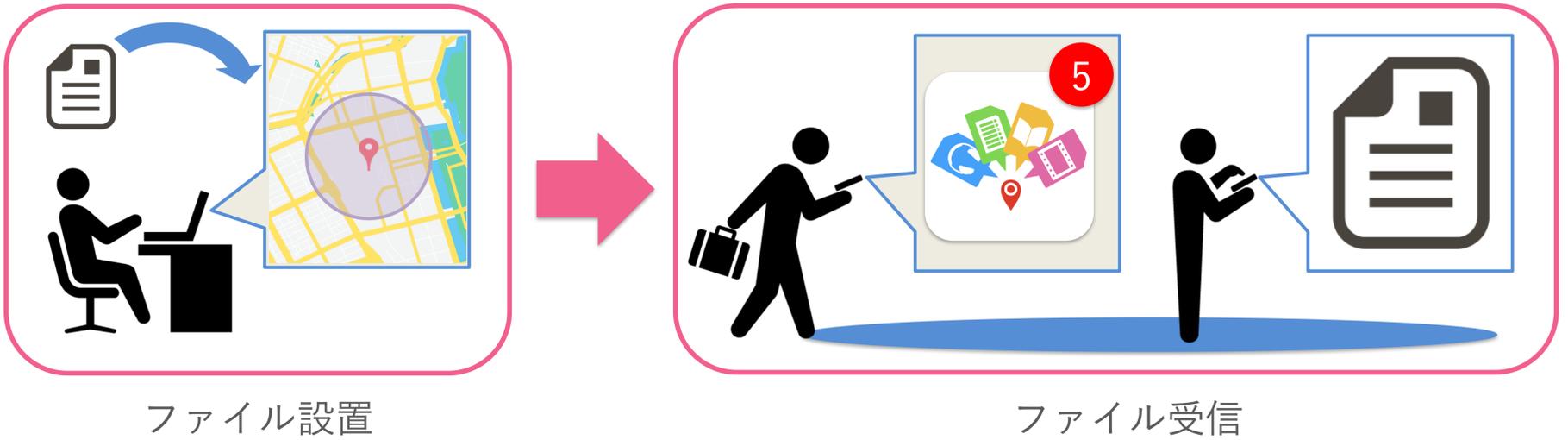
01 概要

現代は多くの情報が氾濫している。そのため、本当に必要な情報を探すのに手間や時間がかかってしまうという問題がある。

そこで、必要な場所で必要な時だけ行う新しいファイル提供方法として、「まっぴん」を提案する。本サービスはファイルを位置情報に紐付けて共有し、あえてファイルが提供される範囲を限定する。そうすることによって、その場その時に本当に必要なファイルだけを取得することができる。

02 サービスの使い方

利用者はデータを提供する側と取得する側に分かれている。提供する側はWebアプリケーションを用いて、ファイルを位置情報と紐付けて設置することができる。また取得側はスマートフォンアプリを用いる。取得側のユーザがファイルの設置されたエリア内に入ると、『まっぴん』がプッシュ通知によって閲覧可能なファイルを知らせる。ユーザがそのファイルに興味がある場合はアプリを開き、ファイルを取得することができる。



03 新規性とミライ性

本サービスの新規性として、その場その時に必要なファイルを自動的に取得・提供できる点が挙げられる。これまでのファイル共有では、ユーザが自分から欲しいファイルを探す必要があった。しかしまっぴんでは位置情報に基づいて設置されたファイルが自動的に提供されるので、その場その時に必要なファイルを手間を掛けずに取得することができる。

本サービスのミライ性として、更にその場その時に適したファイル提供・取得ができるようになるという点が挙げられる。将来的にはアプリの利用履歴を用いて、よりユーザの嗜好に合ったファイルを提供することや、IMESなどの屋内測位技術を用いて建物の中の階や部屋毎に提供するファイルを変えるということを想定している。

04 ビジネスモデル

まっぴんのビジネスモデルは図1の通りである。ターゲットとするユーザは、データ設置側と受信側の2つに分かれる。データ設置側は企業を想定しており、データ受信側は一般的なスマホ所持者を想定している。運営は企業に対して、ユーザにファイルを提供するためのプラットフォームを提供し、その利用料として一定の月額料金を徴収する。ユーザはまっぴんで設置されたファイルを閲覧し、購買活動やイベントへの参加などが促進される。また上記のモデルの具体例として、スーパーマーケットの例を図2に示す。

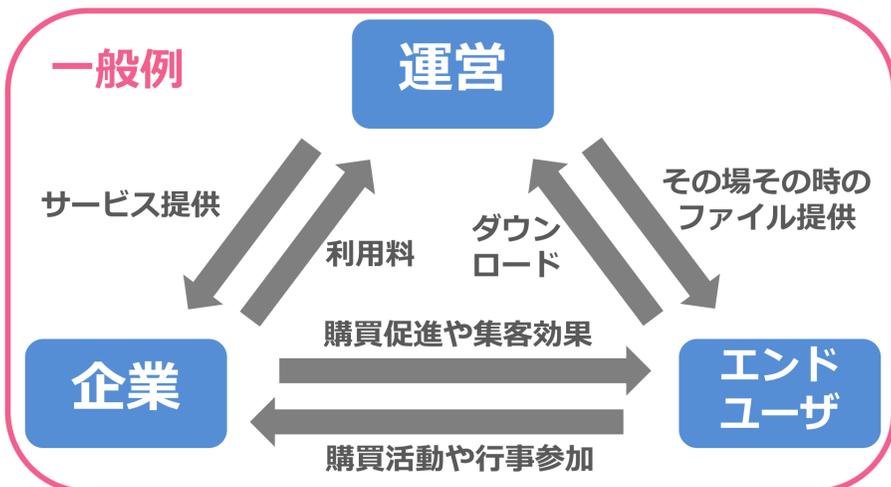


図1

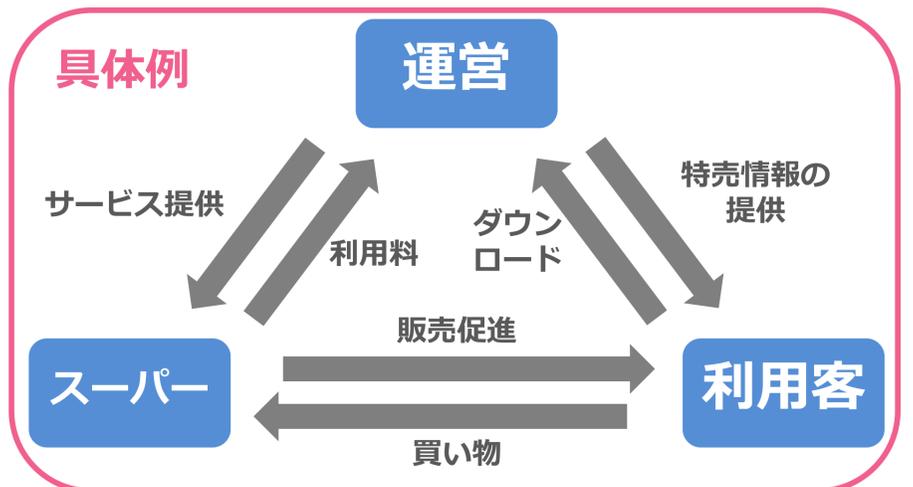


図2